

第 5 章

地域別構想



1 地域の区分と地域別構想の考え方

(1) 地域別構想策定の目的

身近な地区のまちづくり・里づくりを公民の協働により進めるために

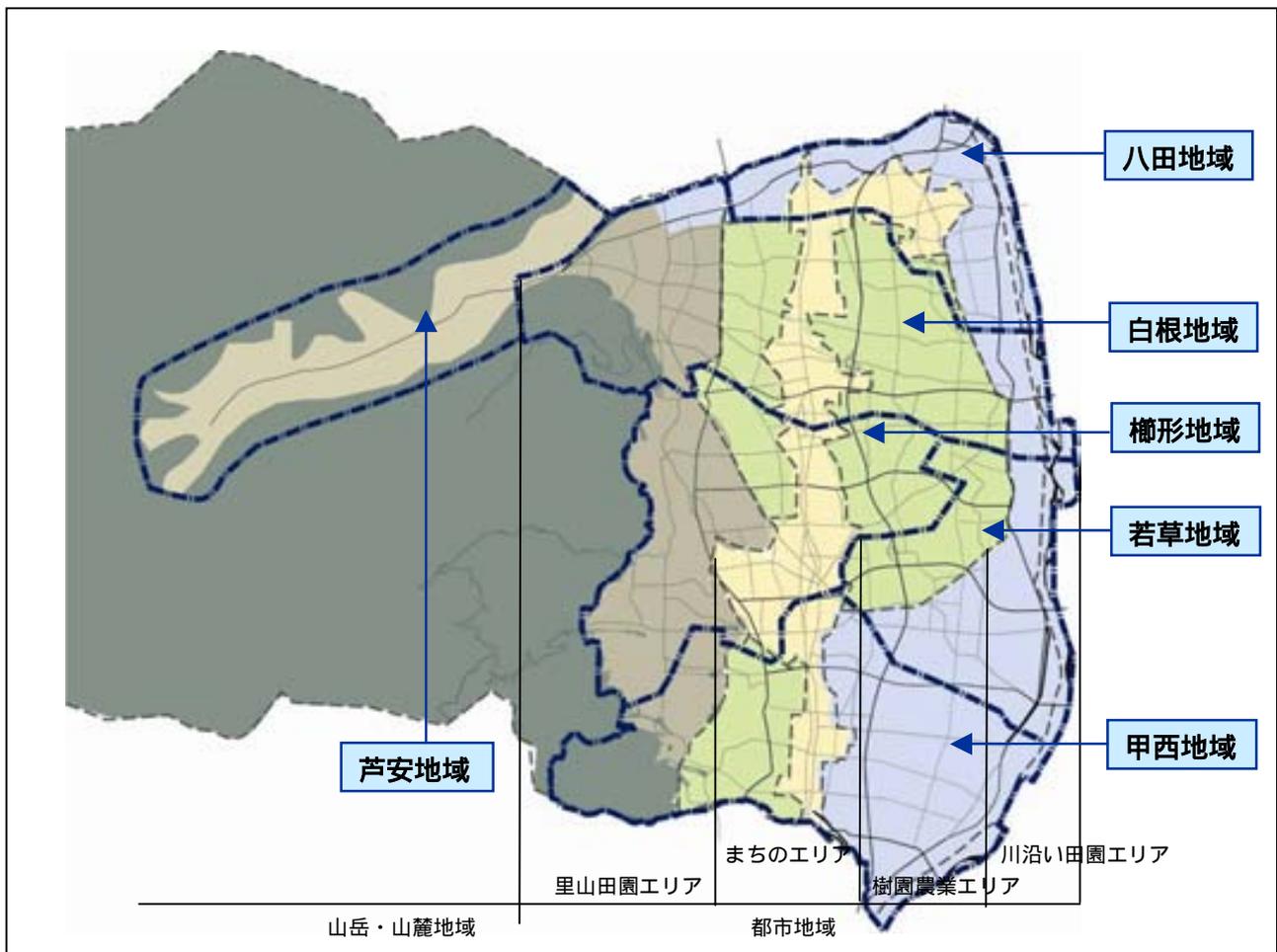
地域別構想は、市民に身近なまちづくり・里づくりを公民協働により進めるために策定します。まちづくり・里づくりは、市民に身近な地区を単位として進められます。このような地区のまちづくり・里づくりを公民が協働して進めるためには、市のなかでのそれぞれの地区の位置づけを明らかにするとともに、地区のまちづくり・里づくりが市全体のまちづくりにつながるよう相互の連携が必要となります。

地域別構想の策定にあたっては、全体構想に述べられた方針を基本として、いくつかの地区で構成される地域を対象に検討を進めました。

(2) 地域の区分

地域は日常の生活圏をはじめ、行政区単位など様々な要素で構成されています。本方針においては、地区の現状やこれまでの地域形成経緯より既往の6地域を基本区分とし、その中で全体構想に示された4つのエリアに配慮した方針づくりを進めました。

地域区分図



2 | 地域別まちづくり構想

2.1 八田地域

(1) 地域の構成とまちづくりの基本課題・・・安全で快適なまちづくり

八田地域は、信玄公による御勅使川の治水対策により、新旧御勅使川河道に挟まれた地域構造が形成され、川とともに生きた歴史を有しています。地域にはこれらの歴史文化資源が数多くみられるとともに、川と水田、扇状地という構成から、視界が開け、八ヶ岳、南アルプス、富士山という雄大な眺望を有する地域です。

地域は、双田橋より甲斐市 JR 塩崎駅、信玄橋より甲斐市 JR 竜王駅へともに約 2 km に位置し、その位置・交通条件より人口増加が続き、比較的ゆとりのある集落地間での宅地化が進行しており、暮らしやすく安全・快適なまとまりのあるまちの形成が課題となっています。

(2) 地域づくりの目標

八田地域の地域づくりの目標を次のように定めます。

御勅使川とともに生きる、安全で快適なまち



八田地域文化財・長谷寺

(3) 地域づくりの方針

暮らしやすく、安全で快適なまちづくりをめざします

集落的なゆとりのあるまちの形成をまとまりのある形で進めるとともに、道路交通の安全性や防災性の向上などまちの安全性や快適性の確保に努めます。

- ・まちをめぐる道路網と既存道路の歩道や歩行者空間整備を進めます。
- ・生活道路網の改善と散策道路の整備をめざします。
- ・集落近接地区での計画的な住宅地の整備をめざします。
- ・街なか生活拠点の機能の更新を進めます。(旧運転免許センター等地区での公園整備)
- ・生活利便施設の適正立地の誘導を図ります。
- ・既存公共施設の効果的な再編を検討します。
- ・地域防災機能の強化(防災公園拠点、道路、ライフライン、建物耐震化、地域防災組織等の強化)を図ります。



御勅使川を中心とした歴史・文化のまちづくりとその拠点の形成をめざします

歴史・文化にふれあえるまちづくりを進めるとともに、他地域と連携して、川・水・生活・文化のエコミュージアム地域の形成に向けた検討を進めます。

- ・御勅使川を中心とした、歴史・文化まちづくりを地域ぐるみでめざします。
- ・河川空間の保全、遊歩道整備と歴史資源の活用や連携の強化を進めます。
- ・歴史文化資源、御勅使川治水等の水に関わる地域形成文化の資源活用と効果的情報提供を進めます。



美しい眺望と広がりのある田園を守ります

良好な景観をつくる田園景観の確保と活用を進めます。

- ・南アルプス・八ヶ岳・富士山を望む良好な眺望の確保と良好眺望地点の整備を検討推進します。
- ・農地の保全と宅地分散化への土地利用規制・誘導についての検討を進めます。
- ・防災空地としての積極的な確保・整備を図ります。



計画的な産業地の形成を進めます

河川沿い地区での産業地の計画的な整備・誘導を進めます。

- ・まとまりのある農地・緑地の保全と工業地等のコンパクトな開発規制・誘導をめざします。
- ・良好眺望景観に調和する開発地区の景観形成と緑化の推進を図ります。
- ・市民が川に接することのできる環境の確保と整備を進めます。

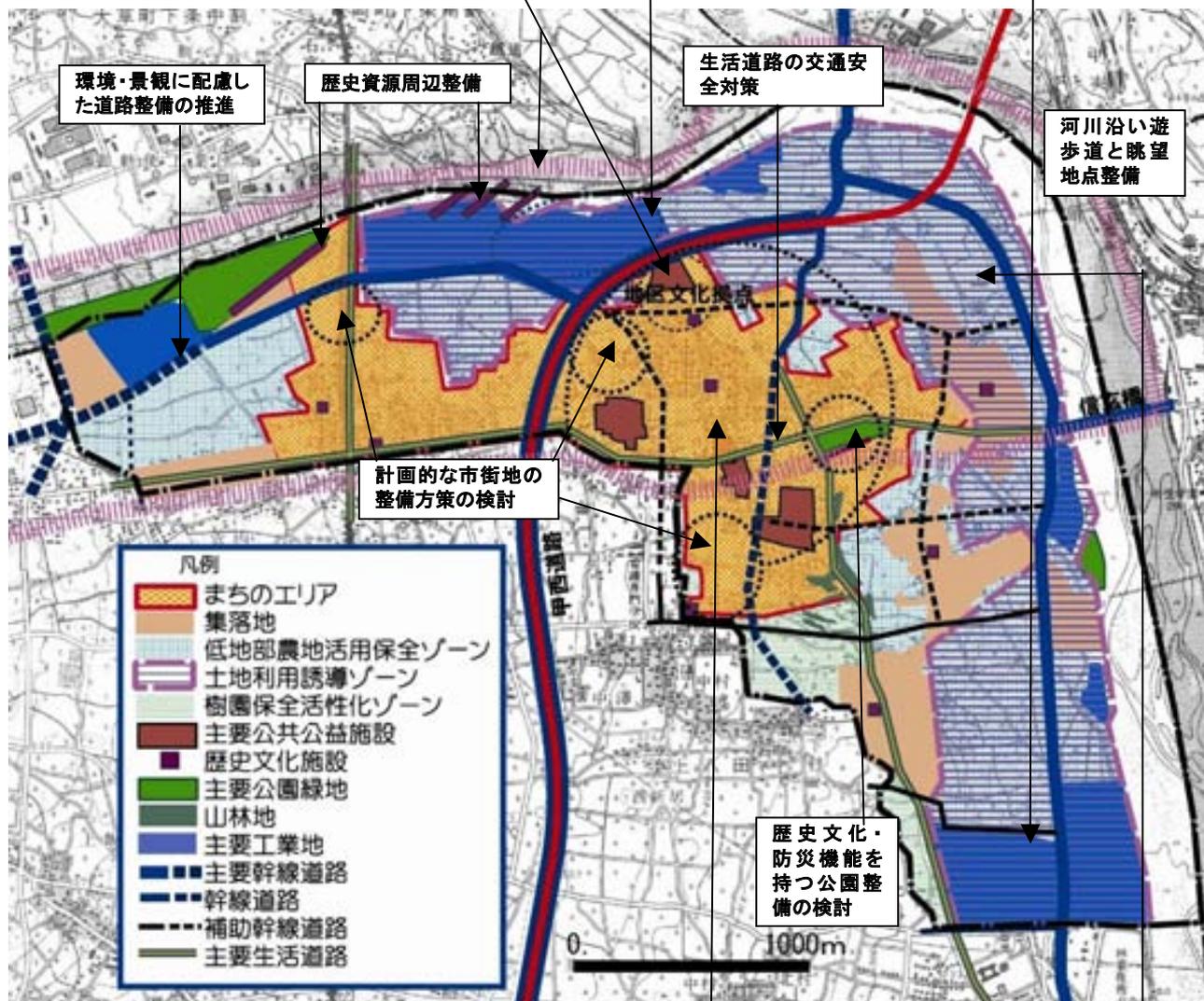
■八田地域まちづくりの方針図■

②御勅使川を中心とした歴史・文化のまちづくりとその拠点の形成をめざします。

- 他地域と連携した、川・水・生活・文化のエコミュージアム地域形成に向けた検討
- 御勅使川を中心とした、歴史・文化まちづくりの推進
- 河川空間の保全・整備
- 河川沿い遊歩道整備と歴史資源の活用や連携の強化
- 歴史文化資源、御勅使川治水等の水に関わる地域形成文化の資源活用と効果的情報提供

④計画的な産業地の形成を進めます。

- 河川沿い地区での産業地の計画規制・誘導
- まとまりのある農地・緑地の保全と工業地等のコンパクトな開発規制・誘導
- 良好眺望景観に調和する開発地区の景観形成と緑化などの開発水準の高質化
- 周辺地区から河川空間への接近性の確保・検討



①暮らしやすく、安全で快適なまちづくりをめざします。

- まちをめぐる道路網と、既存道路の歩道や歩行者空間整備
- 生活道路網の改善と散策道路の整備
- 集落近接地区での計画的な住宅地の整備検討
- 街なか生活拠点の機能の更新(旧運転免許センター等地区での公園整備)
- 生活利便施設の適正立地の誘導
- 既存公共施設の効果的な再編・検討
- 地域防災機能の強化(防災公園拠点、道路、ライフライン、建物耐震化地域防災組織等の強化)

③美しい眺望と広がりのある田園を守ります。

- 良好な景観をつくる田園景観の確保と活用
- 南アルプス・ハヶ岳・富士山を望む良好な眺望の確保と良好眺望地点の整備の検討
- 農地の保全と宅地分散化への土地利用規制・誘導
- 防災空地としての積極的な確保・整備

2.2 白根地域

(1) 地域の構成とまちづくりの基本課題・・・農業・農地の保全とまちづくり

白根地域は、扇状地の中央部に位置し、西は、有野、飯野新田を中心とする水田地域と中央部の樹園及び街道沿いのまち(市街地)、東部の西野、今諏訪といった樹園地域より構成されます。特に、中央部の樹園地域は、県内有数の果樹観光地域を形成しています。地域内には、街道集落をはじめ、これまでに形成された農業文化、徳島堰をはじめとする農業灌漑遺産など、独自の文化資源を有し、また、扇状地としての優れた眺望や景観を有する地域です。

しかしながら、近年、農地の転用による分散的な宅地化の進行が進み、営農条件の確保向上と都市的土地利用の計画的な形成が求められ、特に、果樹観光等の農業・農地の保全振興を基本とした、地域主導の計画的なまち・里づくりをいかに実現していくかが、大きな課題となっています。

(2) 地域づくりの目標

白根地域の地域づくりの目標を次のように定めます。

豊かな農にふれあえる、樹園交流のまち



白根地域・樹園景観

(3) 地域づくりの方針

果樹観光交流を中核に据えたまち・里づくりをめざします

- ・果樹観光リピーターの増加をめざすための美しくゆとりのある樹園環境づくりを進めます。
- ・参加体験可能な交流施設、近郊農業地域としての市民菜園や交流の場づくりを進めます。
- ・農業施策と一体となった地域まちづくり、果樹観光を支援する都市基盤施設(果樹景観道路、駐車場等)と果樹観光地域になじむ施設水準や景観の形成をめざします。
- ・宅地の分散化立地の規制によるまとまりのある樹園地の確保をめざします。(極力集落に隣接する地区への宅地化の規制・誘導、分散化小規模開発の効果的な規制、開発規制規模の引き下げと効果的な規制誘導策等の検討)
- ・拠点集落での生活利便地区等のコンパクトな形成・誘導を図ります。
- ・集落・田園・林地、耕作放棄地等の保全や活用と交流施設、田園住宅、農業関連起業などの地域活性化地区と一体の土地利用型農業・農地の地域主導による検討と支援を推進します。



河川沿い地区での計画的なまちづくり・景観づくりを進めます

- ・南アルプス甲斐線沿道でのコンパクトな都市的土地利用の規制・誘導(開発許可制度の地域基準化や用途地域指定等の検討)を検討推進します。
- ・河川空間の保全と景観整備を進めます。
- ・南アルプスを望む良好な景観の保全を図ります。(立地建物等の高さ・意匠の規制、段丘緑地の保全、アルプス通り景観の保全)

里山田園エリア等での農林・自然環境の保全・活用を進めます

- ・緑地の保全と市民参画による緑地管理を推進支援します。
- ・資材置き場・廃車置場等の土地利用転換への規制、良好景観の確保、景観作物化の推奨を進めます。
- ・荒廃地区でのビオトープ化、施設内でのビオトープ小空間の併設等の検討整備を推進します。
- ・農業参画や田舎暮らしのための受け皿整備検討、農業体験・農泊・学校林等の体験施設の検討と整備誘導を図ります。



地域情報・交流、生活利便のための地域拠点の形成を図ります

- ・各種公共施設集積地区での面的な都市基盤の確保・施設再編(用途地域の指定)を検討します。
- ・街道景観まちづくりの促進を図ります。
- ・市街地の利便性を高める道路網の形成を進めます。



地域文化環境の保全・活用・強化を進めます

- ・歴史文化資源、徳島堰、水宮神社、御勅使川治水等の水に関わる地域形成文化の資源の活用と効果的情報提供を進めます。



白根地域まちづくりの方針図

里山田園エリア等での農林・自然環境の保全・活用を進めます。

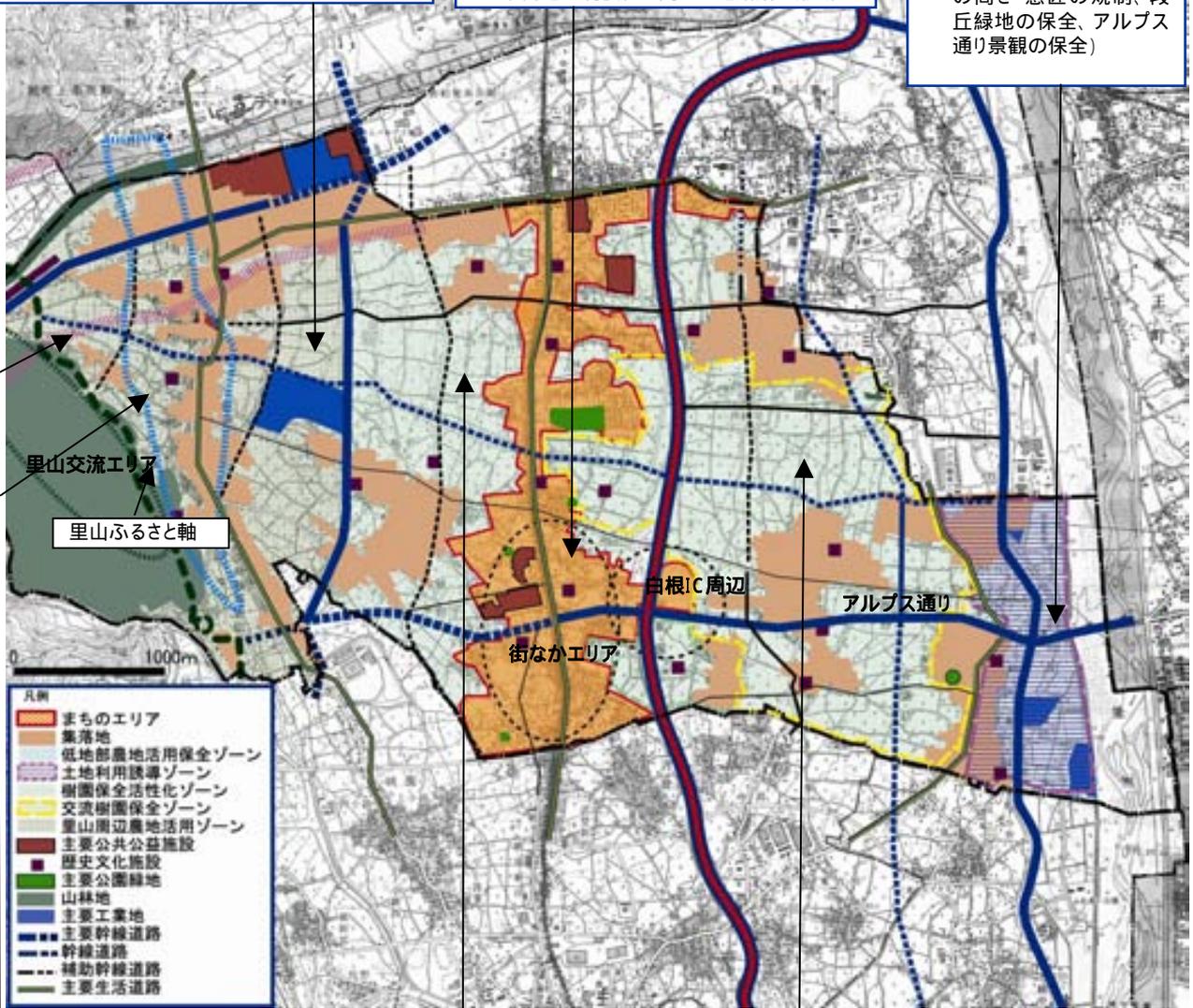
緑地の保全と市民参画による緑地管理の促進
資材置き場・廃車置場等の土地利用転換への規制、良好景観の確保、景観作物化の推奨
荒廃地区でのピオトープ化、施設内でのピオトープ小空間の併設等
農業参画や田舎暮らしのための受け皿整備の検討、農業体験・農泊・学校林等の体験施設の検討と整備誘導

地域情報・交流、生活利便のための地域拠点の形成を図ります。

各種公共施設集積地区での面的な都市基盤の確保・施設再編(用途地域の指定)
街道景観まちづくりの促進
市街地の利便性を高める道路網の形成

河川沿い地区での計画的なまちづくり・景観づくりを進めます。

南アルプス甲斐線沿道でのコンパクトな都市土地利用の規制・誘導(開発許可制度の地域基準化や用途地域指定等の検討)
河川空間の保全と景観整備
南アルプスを望む良好な景観の保全(立地建物等の高さ・意匠の規制、段丘緑地の保全、アルプス通り景観の保全)



地域文化環境の保全・活用・強化を進めます。

歴史文化資源、徳島堰、水宮神社、御勅使川治水等の水に関わる地域形成文化の資源の活用と効果的情報提供

果樹観光交流を中核に据えたまち・里づくりをめざします。

果樹観光リピーターの増加をめざすための美しくゆとりのある樹園環境づくり
参加体験可能な交流施設、近郊農業地域としての市民菜園や交流の場づくり
農業施策と一体となった地域まちづくり、果樹観光を支援する都市基盤施設(果樹景観道路、駐車場等)と果樹観光地域になじむ施設水準や景観の形成
宅地の分散化立地の規制によるまとまりのある樹園地の確保(極力集落に隣接する地区への宅地化の規制・誘導、分散化小規模開発の効果的な規制、開発規制規模の引き下げと効果的な規制誘導策等の検討)
拠点集積地区での生活利便地区等のコンパクトな形成・誘導
集落・田園・林地、耕作放棄地等の保全や活用と交流施設、田園住宅、農業関連起業など地域活性化地区を一体とした土地利用型農業・農地の地域主導による検討と支援

2.3 芦安地域

(1) 地域の構成とまちづくりの基本課題・・・山岳観光地への里山地域の里づくり

芦安地域は、本市の西、都市計画区域外の海拔約700mに位置する地域です。南アルプス観光エリアへの玄関口として、山岳観光、情報提供、温泉及び宿泊等の機能や施設の整備が進められてきました。

山岳及び溪谷に囲まれた地域は、生活や観光のための交通・防災条件の整備とともに、地域においても、観光を楽しむ地域としての環境整備が望まれ、特に集落地内での美しい景観形成を地域参加型のもとに進めることが課題となっています。

(2) 地域づくりの目標

芦安地域の地域づくりの目標を次のように定めます。

山里の雰囲気を楽しむ、山岳観光の里づくり



芦安地域・開山祭

(3) 地域づくりの方針

山岳観光の拠点化里づくりをめざします。

- ・既存資源（施設、文化・史跡、景観、カタクリ群生地をはじめとする優れた自然、人、くらし）を活用し、地域の個性を高めます。
- ・地形的条件、河川、山岳、まとまりのある里の景観を重視した取り組みを地域参加にて進めます。
- ・各種施設や地域資源を道路によりつなぎ、効果的な連携を図ります。



河川と山岳による景観を守り、その質を高めます。

- ・雄大で個性的な景観を守ります。
- ・景観を乱す、施設の規制・誘導・改善を進めます。（統一性と地域の魅力を高める案内サイン、景観イメージを損ねる採石場、看板、資材置き場、むき出しの巨大造成面等の規制・誘導策を検討・導入します。）
- ・都市計画区域外での開発・立地規制策の検討を進めます。



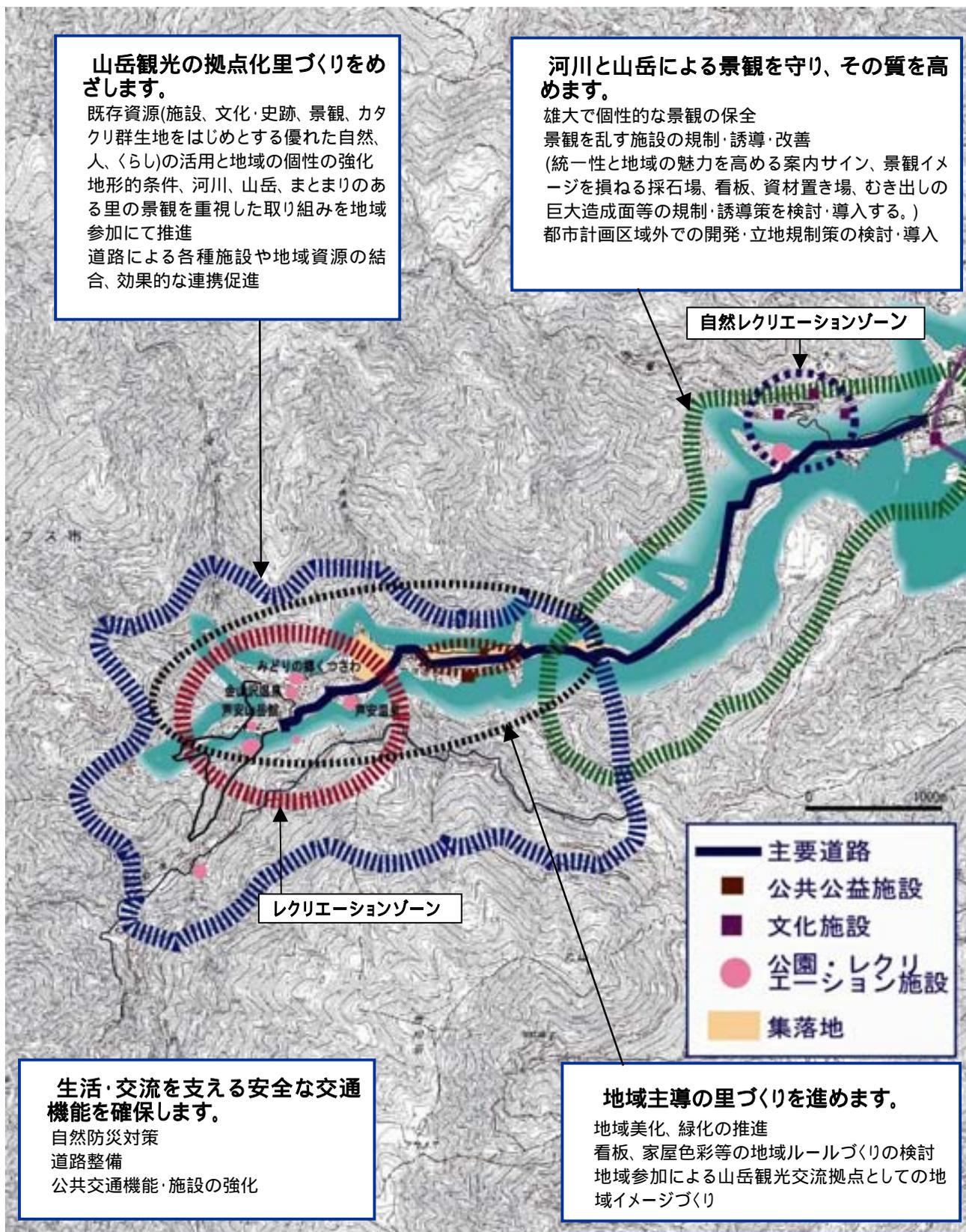
生活・交流を支える安全な交通機能を確保します。

- ・自然防災対策を進めます。
- ・道路整備とともに公共交通機能・施設の強化を図ります。



地域主導の里づくりを進めます

- ・地域美化、緑化を推進します。
- ・看板、家屋色彩等の地域ルールづくりの検討をめざします。
- ・地域参加による山岳観光交流拠点としての地域イメージづくりを推進します。



2.4 若草地域

(1) 地域の構成とまちづくりの基本課題・・・暮らしやすい田園地域里づくり

若草地域は、本市の中央部釜無川沿いに広がる田園・集落地域です。北は果樹地帯、南は水田地帯と大きく2分されます。

地域の成り立ちは古く、特に鎌倉時代成立期での甲斐源氏加賀美氏統治により、地域を中心とするまち・里づくりが行われ、現在も多くの歴史文化資源を有する地域です。水田地帯の北は、一部農業基盤の未整備地区がみられ、これらの地区や浅原橋周辺の水田地帯での散在的な宅地化が進み、市内で最も人口の増加している地域です。

これまでに、築かれてきた優れた歴史文化資源とこれらに調和するまとまりのある集落と田園という落ち着いた地域の環境に対して、地域の景観や土地利用の不安定化が危惧される状況にあります。このため、安定的な農業の振興維持を地域環境整備の基本的な目標として、里づくりを進め、暮らしやすくかつ優れた地域の田園環境を守り育てていくことが大きな課題となっています。

(2) 地域づくりの目標

若草地域の地域づくりの目標を次のように定めます。

地域の歴史・文化と農のある環境を受け継ぎ育てる暮らしのまち



若草地域・十日市

(3) 地域づくりの方針

暮らしやすく魅力ある集落里づくりを進めます

- ・ 集落環境の改善、生活道路の整備と集落の良好な街並みの保持を図ります。
- ・ 集落と調和する住宅立地の誘導と一体の地域コミュニティの形成による地域の活性化をめざします。
- ・ 湧水や緑環境の保全と活用をめざします。

農地・農業の保全・振興を推進します

- ・ 新たな農業参画体制の強化策の検討を進めます。
- ・ 都市交流等と連携した農業生産や農地の利用をめざします。

道路整備と沿道利用の適正化による地域環境の保持を図ります

- ・ 散在する宅地の土地利用規制により、まとまりのある農地の保全を図ります。
- ・ 幹線道路沿いでの地区指定によるコンパクトで効率的な土地利用の推進を進めます。



地域の歴史・文化資源を活用したまちづくりと地域の活性化を進めます

- ・ 地域資源をつなぐ散策路づくりを進めます。
- ・ 街道や歴史文化資源になじむ街並み景観の形成と魅力づくりを地域参加の下に進めます。
- ・ 地域資源の活用と連携の強化をめざします。(瓦会館周辺地区・十日市場地区、加賀美甲斐源氏の里・堤防址群地区等)
- ・ 地域の魅力や地域郷土として魅力を育てる加賀美の里まちづくりの検討を進めます。



中心公共施設地区での魅力づくりを図ります

- ・ 歴史文化まちづくりの情報拠点の形成・強化をめざします。
- ・ 集落交流拠点の充実を進めます。
- ・ 効果的な施設利用と施設の再編を進めます。

インター周辺での拠点的機能の検討・整備をめざします

- ・ 交通等の好条件を活かした、本市をリードし、広く市民に支持される機能導入の検討を進めます。

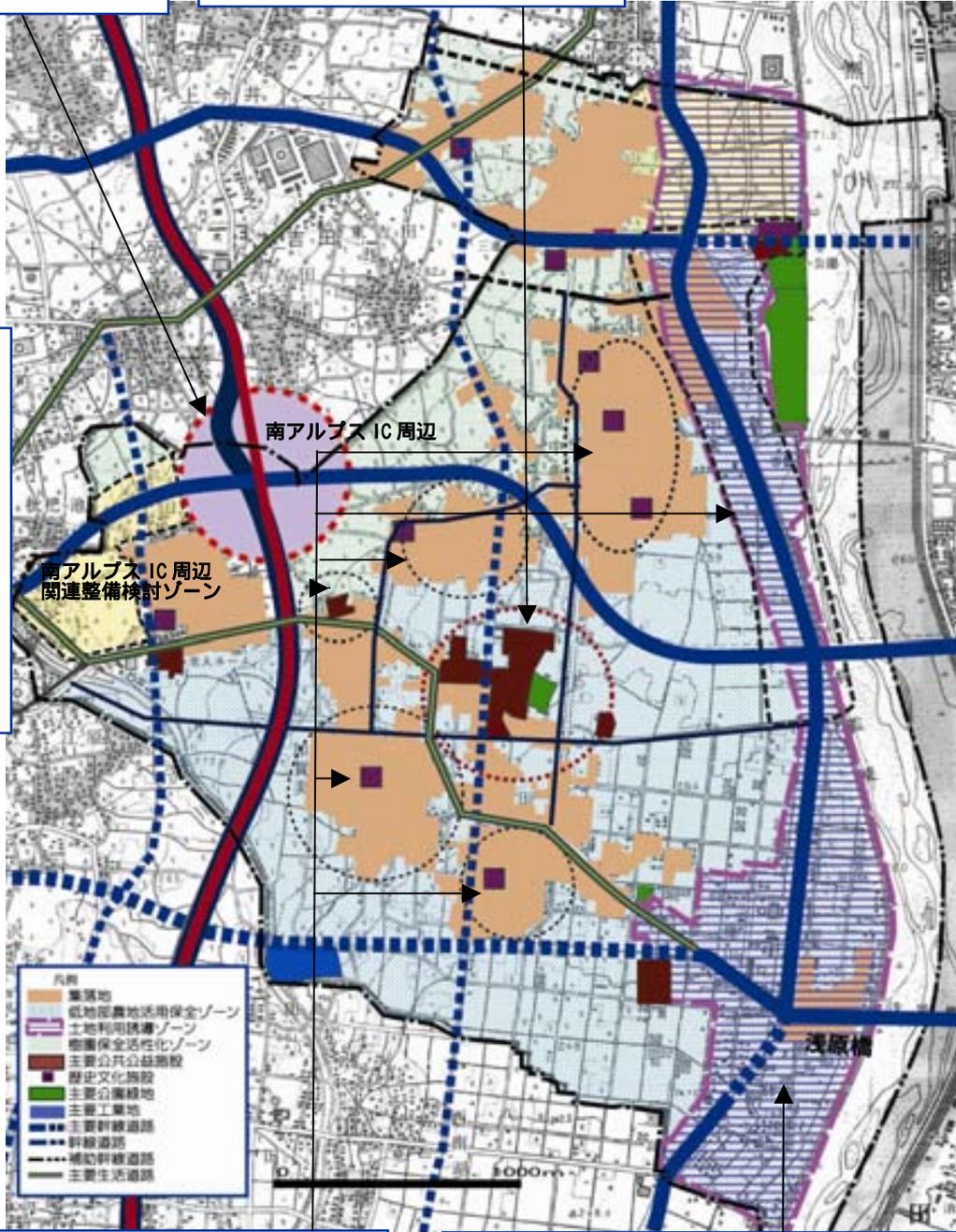
若草地域まちづくりの方針図

インター周辺での拠点的功能の検討・整備をめざします。
 交通等の好条件を活かした、本市をリードし、広く市民に支持される機能導入の検討

中心公共施設地区での魅力づくりを図ります。
 歴史文化まちづくりの情報拠点の形成・強化
 集落交流拠点の充実
 効果的な施設利用と施設の再編

農地・農業の保全・振興を図ります。
 新たな農業参画体制の強化
 都市交流等と連携した農業生産や農地の利用

暮らしやすく魅力ある集落里づくりを進めます。
 集落環境の改善、生活道路の整備と集落の良好な街並みの保持
 集落と調和する住宅立地の誘導と一体の地域コミュニティの形成による地域の活性化
 湧水や緑環境の保全と活用



地域の歴史・文化資源を活用したまちづくりと地域の活性化を進めます。
 地域資源をつなぐ散策路づくり
 街道や歴史文化資源になじむ街並み景観の形成と魅力づくり
 地域資源の活用と連携の強化(瓦会館周辺地区・十日市場地区、加賀美甲斐源氏の里・堤防址群地区等)
 地域の魅力や地域郷土として魅力を育てる加賀美の里まちづくりの検討

道路整備と沿道利用の適正化による地域環境の保持を図ります。
 散在する宅地の土地利用規制によるまとまりのある農地の保全
 幹線道路沿いでの地区指定によるコンパクトで効率的な土地利用の推進

2. 5 櫛形地域

(1) 地域の構成とまちづくりの基本課題・・・まちの一層の魅力づくり

櫛形地域は、櫛形山に連なる市之瀬台地、台地の下に広がるまち(市街地)、市街地を取り囲む樹園地という大きく3つの地域で構成されています。地域の中心となる市街地は、山岳台地より流れる滝沢川と国道52号(駿信往還)の交わる地区を中心としてコンパクトに形成されています。縄文期の遺跡が数多く分布する市之瀬台地や甲斐源氏小笠原氏の領地としての隆盛など、地域の成り立ちは古く、地域には多くの歴史文化資源が点在します。

「櫛形らしさ」は、これらの「櫛形山に連なる雄大な風景」「豊かな農林・自然」「独自の伝統・文化」を基礎に、まち、里、田園、樹園として形づくられています。

市街地は行政・文化地区として機能し、都市計画道路網、総合公園等の基盤整備や土地区画整理事業による市街地整備が進み、まとまりのあるまちとしての形成が進んでいますが、街なかにおける商業機能の停滞への対処など、地域の資源を活用した一層の魅力づくりが求められています。

(2) 地域づくりの目標

櫛形地域の地域づくりの目標を次のように定めます。

**櫛形山に連なる雄大な風景に、
自然・歴史・文化を受け継ぐ、地域交流のまち**



櫛形地域・流鏝馬

(3) 地域づくりの方針

地域らしさを形づくっている、骨格的な地域構造を守ります

落ち着いて暮らしやすく、自然や文化にふれあえる
櫛形らしさともいえる地域の魅力は、自然・風景・歴史
や文化が重なり合い、各地域がつながりあい、地域の土
地利用として形成されています。このためこの土地利用
の構造を尊重し、その魅力を守り育てます。

- ・ 櫛形山と河川、市之瀬台地とまち・里のつくる独自
風景を尊重します。
- ・ 市街地を囲む農地、斜面緑地、河川等の農林自然地
のまとまりのある形態での保全をめざします。
- ・ 緩やかに起伏のある市之瀬台地の棚田と里の環境や
景観を尊重し、それらの全体が織り成す独自の風景
をつくる土地利用の保全を図ります。
- ・ 山林の保全と維持管理の強化を図ります。
- ・ 棚田、樹園、河川の保全のための魅力づくりを進め
ます。(参加型農業の場、多自然型・親水型河川等)



雄大な風景に調和するまちづくり・里づくりの推進をめざします

櫛形山への眺望の確保と、これと調和するまちづくり
を進めます。

- ・ 市街地における建物高さ・形態の調和・規制・誘導
策の検討を進めます。
- ・ まとまりのある低層集落地区での美しい家並みの保
全・形成と緑化推進を図ります。
- ・ 広がりのある農地景観の保全と、河川、道路等の公
共オープンスペースにおける山岳への眺望景観の確
保を図ります。
- ・ 四季や時間の変化に応じた地域風景の魅力づくりを
進めます。(アヤメの里づくり、花とみどりのまちづ
くり)
- ・ 里山地域周辺での山林景観に調和し、より魅力のあ
る里や街並みの保全を図ります。



南アルプス市の顔となる拠点づくりをめざします

地域交流や生活利便のための都市交流拠点の形成をめざします。

- ・地域主導の商業振興まちづくりの推進と支援をめざします。
- ・広域及び市内の多様な交流のための受け皿整備と再編をめざします。
- ・歴史・スポーツ・文化・観光・商業・サービスの集積を活かし、時代に応じた機能の更新を進めます。
- ・観光・交流等の情報提供の場の充実を図ります。
- ・市民交流を支える交通機能の整備をめざします。(市内循環バス網の確保、長期を見据えた軌道系等の公共交通導入の検討と要請)
- ・計画的な市街地住宅地の整備・誘導を図ります。(道路・公園・下水道と宅地の整備)



山麓でのふれあい交流の里づくりを進めます

- ・農業参画や田舎暮らしのための受け皿整備の検討、農業体験・農泊・学校林等の体験施設の検討と整備誘導をめざします。
- ・棚田の保全と活用を進めます。

歴史と文化のまちづくりを推進します

- ・地域文化環境の保全・活用を図ります。
- ・資源をつなぐ散策路づくりを進めます。
- ・街道や歴史文化資源になじむ街並み景観の形成と歴史と文化のまちづくりを進めます。

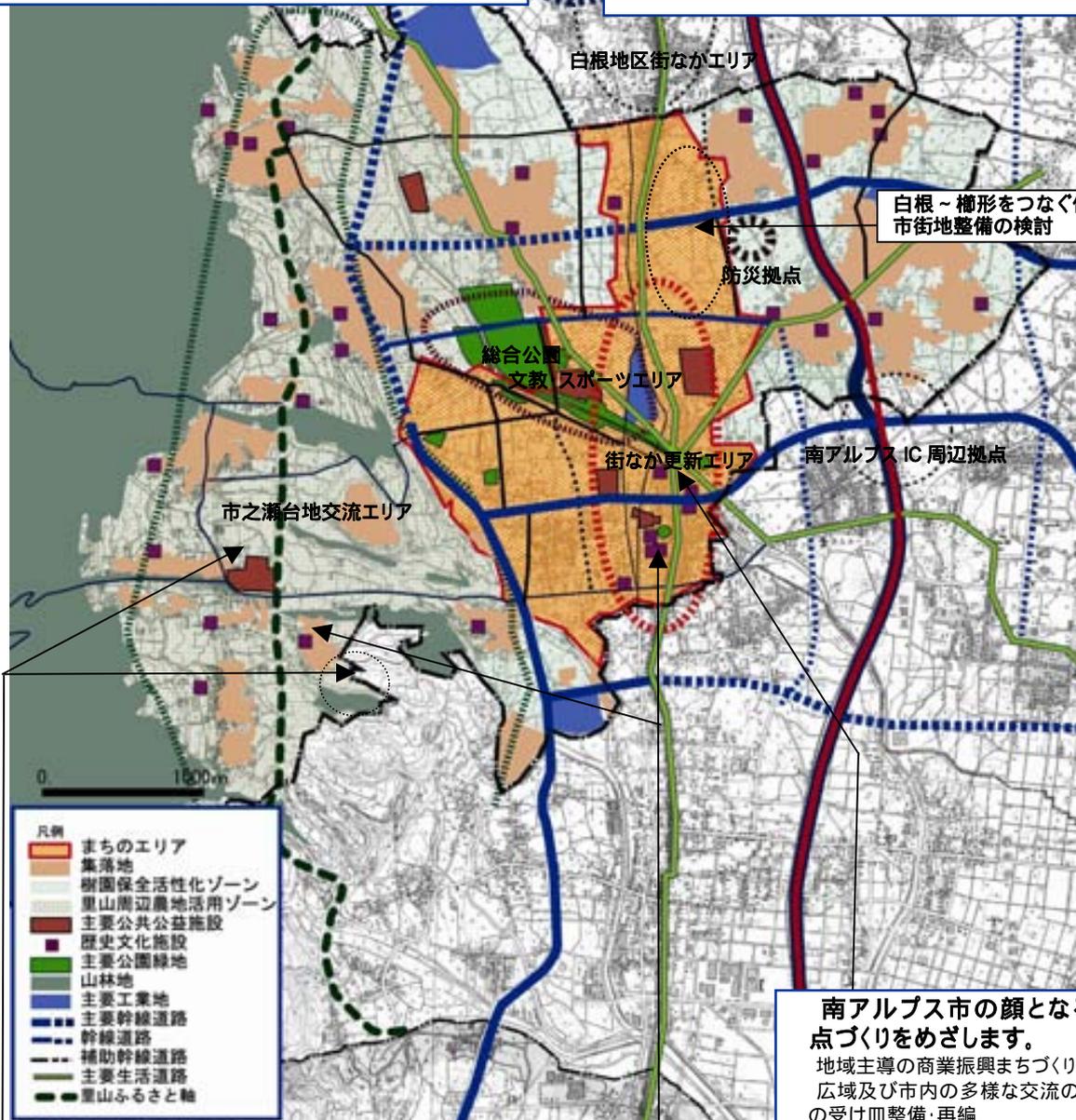
櫛形地域のまちづくり方針図

地域らしさを形づくっている、骨格的な地域構造を守ります。

櫛形山と河川、市之瀬台地とまち・里のつくる独自風景の尊重
 市街地を囲む農地、斜面緑地、河川等の農林自然地のまとまりのある形態での保全
 緩やかに起伏のある市之瀬台地の棚田と里の環境や景観を尊重し、それらの全体が織り成す独自の風景をつくる土地利用の保全
 山林の保全と維持管理の強化
 棚田、樹園、河川の保全のための魅力づくり(参加型農業の場、多自然型・親水型河川等)

雄大な風景に調和するまちづくり・里づくりの推進をめざします。

市街地における建物高さ・形態の調和・規制・誘導策の検討
 まとまりのある低層集落地区での美しい家並みの保全
 広がりのある農地景観の保全と、河川、道路等の公共オープンスペースにおける山岳への眺望景観の確保
 四季や時間の変化に応じた地域風景の魅力づくり
 里山地域周辺での山林景観に調和し、より魅力のある里や街並みの保全



白根～櫛形をつなぐ住宅市街地整備の検討

防災拠点

総合公園
 文教・スポーツエリア

街なか更新エリア

南アルプスIC周辺拠点

市之瀬台地交流エリア

- 凡例
- まちのエリア
 - 集落地
 - 樹園保全活性化ゾーン
 - 里山周辺農地活用ゾーン
 - 主要公共公益施設
 - 歴史文化施設
 - 主要公園緑地
 - 山林地
 - 主要工業地
 - 主要幹線道路
 - 幹線道路
 - 補助幹線道路
 - 主要生活道路
 - 里山ふるさと軸

山麓でのふれあい交流の里づくりを進めます。

農業参画や田舎暮らしのための受け皿整備の検討、農業体験・農泊・学校林等の体験施設の検討と整備誘導
 棚田の保全と活用

歴史と文化のまちづくりを推進します。

地域文化環境の保全・活用
 資源をつなぐ散策路づくり
 街道や歴史文化資源になじむ街並み景観の形成と歴史・文化のまちづくり

南アルプス市の顔となる拠点づくりをめざします。

地域主導の商業振興まちづくり
 広域及び市内の多様な交流のための受け皿整備・再編
 歴史・スポーツ・文化・観光・商業・サービスの集積
 観光・交流等の情報提供の場の充実
 観光交流、市民交流のための施設・機能の整備
 市民交流を支える交通機能の整備
 計画的な市街地住宅地の整備・誘導(道路・公園・下水道と宅地の整備)

2.6 甲西地域

(1) 地域の構成とまちづくりの基本課題・・・暮らしやすい田園地域里づくり

甲西地域は、本市の南に位置し、西の台地から中央部の市街地、東部の水田という大きく3つの地域からなります。また、地域の中心に位置する市街地は、駿信往還の間宿荊沢宿として発展した経緯をもち、広域的な交流から様々な地場の産業や文化を形成した歴史を持つ地域です。

市街地は、工業団地と一体に都市計画用途地域に指定され、コンパクトに形成され、周辺の樹園地域や田園地域と調和して、安定的で情緒ある街並み・田園景観が形成されています。

地域西の台地・丘陵部には、寺社・史跡等の歴史文化の集積が、東には水田の広がりの中に重要文化財・安藤家住宅が立地し、これらと街なかの資源を連携した地域文化のまちづくりが期待される状況にあります。

地域のまちづくり・里づくりの抱える課題は、現在のまとまりのある土地利用をしっかりと守り、安定的な環境のなかで、地域の魅力づくりや地域発展のための活性化をいかに図るかということです。

このため、街なかや里での景観整備や緑化の保持推進、歩行者散策道路の整備、地域に調和する新たな住宅地の計画整備、工業団地の機能の強化さらには、水田地域における農地の保全やそれを支える農業の時代に応じた振興などが課題となっています。なお、地域南部は河川に接する低地部で浸水想定区域であり、防災上から宅地化の抑止が必要とされる地区です。

(2) 地域づくりの目標

甲西地域の地域づくりの目標を次のように定めます。

培われた文化を守り、新たな産業と田園が調和する豊かな交流のまち



甲西地域・安藤家住宅

(3) 地域づくりの方針

広がりのある水田の安定的な環境づくりを進めます

- ・野鳥の舞う低地部水田地域の安定的な環境の保全をめざします。
- ・水田地域の保全と都市農業参画の推進・検討を進めます。
- ・水害等自然災害に対処するための土地利用の規制を図ります。
- ・農業交流環境を高める施設整備をめざします。(安藤家住宅周辺、ふれあい公園周辺等の文化交流拠点の強化とこれらをつなぐ滝沢川遊歩道等のネットワーク化・緑化、安定的土地利用担保を前提とした新規主要道路の整備)



里山地域での都市交流を通じた地域の活性化を図ります

- ・里山山林・農地の保全と果樹・農業観光の振興
- ・櫛形地域と一体となった市之瀬台地ゾーンの魅力づくりを進めます。(歴史資源の活用と回遊空間づくり、特徴と変化のある微地形の景観保全、農地の保全と景観作物化、ウェスタンラインを軸とする地域景観整備、農業等地場産品の販売交流プレゼンテーションの場の確保、地域農業参画への支援、山林と農地の一体的保全・活用を進める地域里づくりの組織化や活動支援等)

歴史文化をつなぐコンパクトなまちの魅力づくりを進めます

- ・駿信街道街並みの整備・誘導、地域性を表す個性ある街道景観の形成をめざします。
- ・熊野神社周辺、古長禅寺周辺、安藤家周辺等の歴史伝統遺産等地区への連携強化のため、遊歩道整備や情報提供、市民案内人の要請等をめざします。
- ・地域工芸・産業と地域資源を廻る歴史文化の散策路づくりをめざします。
- ・山岳、低地部農地とコンパクトな市街地・集落によるゆとりのある地域景観の保全を図ります。
- ・市街地における日常生活サービス施設の立地支援を進めます。
- ・幹線道路に円滑に連絡する道路網形成を進めます。
- ・循環型バス運行の確保をめざします。
- ・地域内及び地域外との多様な交流の場づくりと情報の発信をめざします。
- ・地域コミュニティ内での交流活動の活発化を支援します。
- ・多様な生涯学習等の機会の充実と活用をめざします。



地域をつなぐ道路の整備を進めます

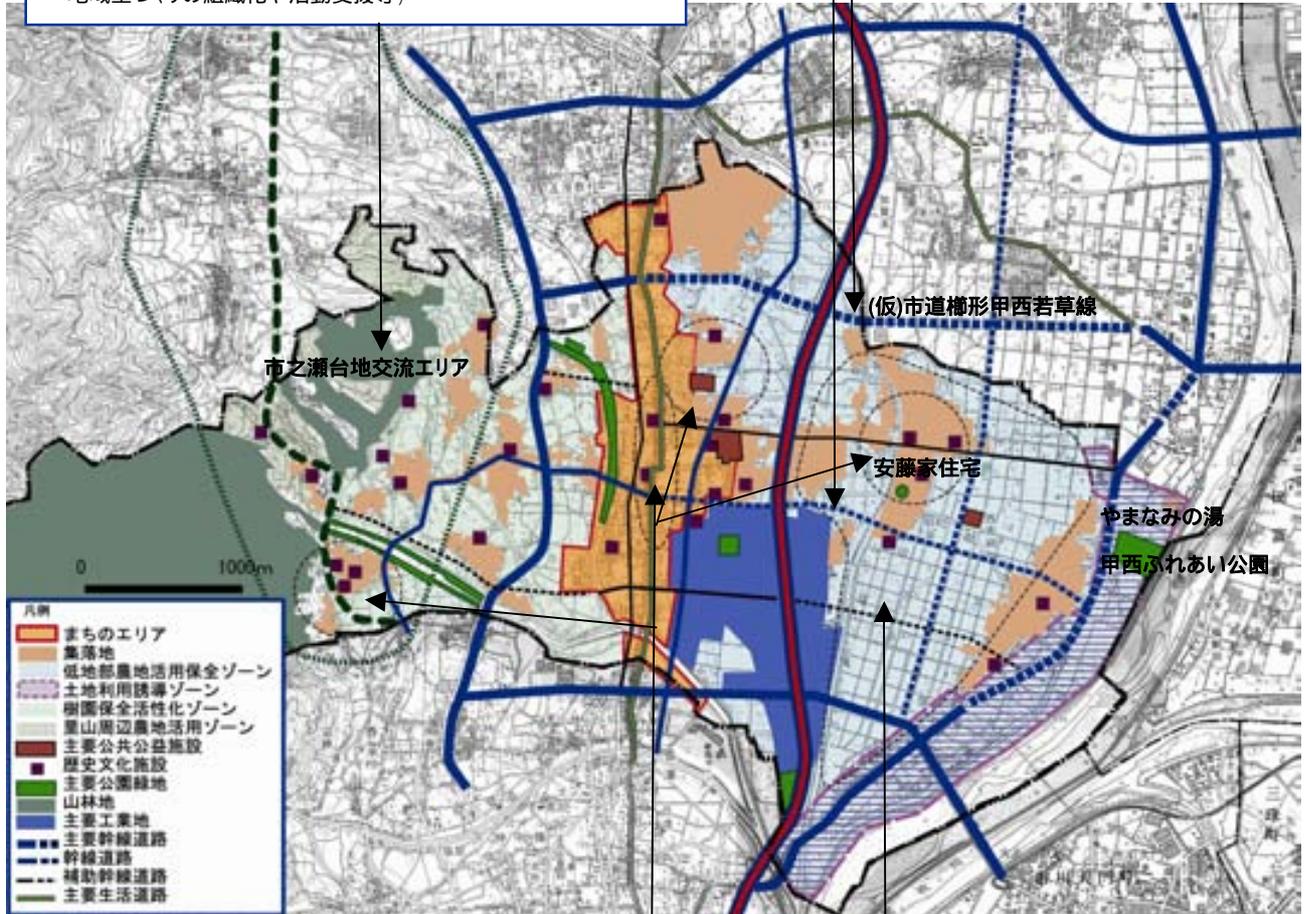
- ・幹線道路、生活道路、歩行者道路の整備を進めます。

里山地域での都市交流を通じた地域の活性化を図ります。

里山山林・農地の保全と果樹・農業観光の振興
 櫛形地域と一体となった市之瀬台地ゾーンの魅力づくり(歴史資源の活用と回遊空間づくり、特徴と変化のある微地形の景観保全、農地の保全と景観作物化、ウェスタンラインを軸とする地域景観整備、農業等農場産品の販売交流プレゼンテーションの場の確保、地域農業参画への支援、山林と農地の一体的保全・活用を進める地域里づくりの組織化や活動支援等)

地域をつなぐ道路の整備を進めます。

幹線道路の整備
 生活道路の整備
 歩行者道路の整備



歴史文化をつなぐコンパクトなまちの魅力づくりを進めます。

駿信街道街並みの整備・誘導、地域性を表す個性ある街路景観の形成
 熊野神社周辺、古長禅寺周辺、安藤家周辺等の歴史伝統遺産等地区への連携強化のための、遊歩道整備や情報提供、市民案内人の要請
 地域工芸・産業と地域資源を廻る歴史文化の散策路づくり
 山岳、低地部農地とコンパクトな市街地・集落によるゆとりのある地域景観の保全
 市街地における日常生活サービス施設の立地支援
 幹線道路に円滑に連絡する道路網形成
 循環型バス運行の確保
 地域内及び地域外との多様な交流の場づくりと情報の発信
 地域コミュニティ内での交流活動の活発化支援
 多様な生涯学習等の機会の充実と活用

広がりのある水田の安定的な環境づくりを進めます。

野鳥の舞う低地部水田地域の安定的な環境の保全
 水田地域の保全と都市農業参画の推進・検討
 水害等自然災害に対処するための土地利用の規制
 農業交流環境を高める施設整備(安藤家住宅周辺、ふれあい公園周辺等の文化交流拠点の強化とこれらを繋ぐ滝沢川遊歩道等のネットワーク化・緑化、安定的土地利用担保を前提とした新規主要道路の整備)